



「弘前藩庁日記ひろひよみ
Vol.1 1661年～1740年」

福眞吉美 著

北方新社, 2010年7月,

CD-ROM, 2000円 (本体価格)

ISBN 978-4-8929-7150-1

本書を初めて手にした時、とても驚いた。というのも、手元に届いたものは、私がタイトルから勝手に想像していたぶ厚くて重そうな外見の書籍とは異なり、一枚のCD-ROM だったからである。電子書籍や電子ジャーナルが普及しつつある今日、CD-ROM で出版される書籍があってもなんら不思議なことではない。そうはいっても、「古文書に関する本がCD-ROM?」と思われた方は少なくないだろう。

本書の内容は、弘前市立弘前図書館に所蔵されている「弘前藩庁日記」のうち、1661年から1740年の日々の天気や季節現象、自然災害に関する記述を、著者が「ひろひよみ (拾い読み)」, 一覧表にしたものである。すなわち、本書は「書籍」として販売されているが、実際のところ、17世紀末から18世紀の青森県弘前市付近の日々の気象情報が蓄積された「データセット」という性質がより強い。そういった点から、本書が電子ファイルとして公開されることになった理由が推測できる。

本書 (CD-ROM) に集録されているファイルは以下のとおりである。

- ・解説 (MS-Word, PDF 形式)
- ・弘前藩庁日記1661～1700 (MS-Excel, PDF 形式)
- ・弘前藩庁日記1701～1740 (MS-Excel, PDF 形式)

「解説」には、弘前藩庁日記の特徴・著者の編集方針・補足事項が約9ページにわたって書かれている。それによると「弘前藩庁日記」は、弘前藩が書き遺した毎日の日記で、1661年6月29日から1868年1月24日まで存在する。日記には、重要役職の出勤状況や祭祀・仏事・藩主の公的生活、報償や刑罰など様々な内容が日々記録されている。毎日の天気は、現代の私たちが慣例的におこなっているのと同様に、日付に続く

て記載されている。天気は、晴や雨といった定性的な表現であるが、天気の変化がおこった時刻や積雪深なども時々記録されている。さらに、日記本文には、季節現象 (初雪や河川の結氷など) や災害、災害による死者数、食料の値段など天候に関連する記述が含まれており、本書にも集録されている。「弘前藩庁日記1661～1700」と「弘前藩庁日記1701～1740」のファイルには、1日分の記述が1行に収められており、各行の左から順に西暦の年月日、和暦の年月日、その日の天気、そして天候に関する記述などが並んでいる。

日記の原本を読み解いていくにあたっては、まず和暦を西暦に読み替える作業と毛筆で書かれたくずし字を解読する必要がある。どちらも事典の助けがあれば不可能なことではないが、「元気象屋」で歴史や古文書にはあまり知識がない」と自己紹介している著者が、一人で80年分の日記を解読したとなると、大変な労力であったと想像できる。

「弘前藩庁日記」は、比較的長期にわたり継続した天候記録を含む日記として、以前から歴史気候学者らによって注目され、災害や降水、降雪の頻度から当時の気候を復元・解析する研究が数多く行われてきた (谷治・三澤 1981; Maejima and Tagami 1983; Hirano and Mikami 2008など)。しかし、著者も私も同様に残念に思っていたのは、過去に研究された古文書の天候記録が、電子ファイルの状態で公表されていないことである。また一般に、古文書は持ち出しやコピーが禁じられているため、データを収集するには、現地に出かけて書き写したり、入力したりする必要があり、手間も時間もかかる。そこで、一度解説・収集されたデータが、本書のように電子ファイルで一般に公開されれば、後に興味を持った人が無駄な時間を割く必要がなくなり、効率的である。よって本書がCD-ROM という形で出版されたのは、大変画期的であるといえる。実は私が大学院生の時、指導教官とともに、まさにこの「弘前藩庁日記」を現地まで読みに行き、データ収集の手伝いをしたことがある。別ルートとはいえ、このデータが一般に公開されたことを、大変うれしく思っている。

日本に残る多くの古文書が書かれた17世紀から19世紀にかけては、世界各地で寒冷な気候が卓越した小氷期と呼ばれる時期にあたる。これまで、小氷期の気候復元には、代替データの一つとして、古文書の天候記録が利用され、国際的にも注目されてきた。今後は、本書の後編 (1741年以降) だけでなく、様々な古日記

の天候データが一般に公開され、研究に活用されることを望んでいる。

参 考 文 献

Hirano, J. and T. Mikami, 2008 : Reconstruction of winter climate variations during the 19th century in Japan. *Int. J. Climatol.*, 28, 1423-1434.

Maejima, I. and Y. Tagami, 1983 : Climate of Little Ice Age in Japan. *Geogr. Rep. Tokyo Metrop. Univ.*, 18, 91-111.

谷治正孝, 三澤明子, 1981 : 天保飢饉前後の気候に関する一考察. *横浜国立大学理科紀要第2類*, 28, 91-107.

(成蹊大学経済学部 財城真寿美)